

「考える力を育てる問題」申込用紙

下の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、問題文と一緒にメールか郵送で送ってください。

締切：平成 28 年 1 2 月 9 日（金）

申込日：12月3日

ふりがな 氏名	か さ い ゆ う 笠井 悠		
所属 (学校)	長岡市立豊田小学校		
学年	4年（5・6年も可）	教科 (○で 囲む)	国語, 算数, 理科
単元名	漢字の組み立て テスト名「漢字の組み立てを学ぶテスト」		
問題の見所	<p>問題作成に関しては、次の2点を前提とした。</p> <p>①「考える力を試す問題」ではなく、「考える力を育てる問題」であるからには、問題を解く過程で、「考える力」に結び付く気付きを得ることができる問題であること。</p> <p>②「考える力」の基になる考える方法を使ったり、自覚できたりする問題であること。そのうえで、この問題に関しては、内容や構成として次の特長をもつように意図した。</p> <p>①学習指導要領の第3学年及び第4学年の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「文字に関する事項」「(ウ)漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。」を対象とした問題である。</p> <p>②漢字の組み立てを学ぶ展開として、複数の漢字から共通性を見出す（思考方法・帰納）、その共通性に合う漢字を見つける（思考方法・演繹）、見つけた規則にそって漢字を分類する（思考方法・分類）を提案する。そして、用いた思考方法を自覚することによって「考える力を育てる」ことにも結び付ける。</p> <p>③帰納、演繹、分類という思考方法を繰り返し用いる問題構成をとっており、考え方を学ぶ問題にもなっている。</p>		
出典 (必要な場合のみ)	なし		

漢字の組み立てを学ぶテスト（4年生以上）

1 次の①～⑤に答えましょう。

① 次の漢字に共通する部分を丸で囲みましょう。

海 港 湯 流

② 丸で囲んだ部分は、四つの漢字の部首です。この部首をもつ漢字を、①の四つの他に六つ書きましょう。

③ この部首を使った漢字は、何に関係するものが多いですか。

④ ①の四つの漢字と②で書いた漢字を、③に関係するものと関係しないものに分けましょう。全て関係する漢字の場合は、関係しない方のグループに「なし」と書きます。

関係するグループ

関係しないグループ

⑤ ここまでの①、②、④では、次の三種類の考え方を使いました。

ア. 別々のものから共通点を見つける。

イ. あるきまりに従って、複数のをいくつかのグループに分ける。

ウ. ある共通点をもとに、それに合う他のものを見つける。

それぞれ、どの問題で使いましたか。記号を書きましょう。

①

⋮

②

⋮

④

⋮

2 1の考え方をを使って、次の漢字の組み立てについて考えてみましょう。

① 次の漢字に共通する部首を丸で囲みましょう。

花 芽 荷 茶

② この部首の漢字を、①の四つの他に六つ書きなさい。

③ この部首を使った漢字は、何に関係するものが多いですか。
植物に関係するもの

④ ①の四つの漢字と②で書いた漢字を、③に關係するものと關係しないものに分けなさい。

關係するグループ

關係しないグループ

③ さらに、次の漢字の組み立てについて考えてみましょう。

① 次の漢字に共通する部首を丸で囲みましょう。

進 追 速 近

② この部首の漢字を、①の四つの他に六つ書きましょう。

③ この部首を使った漢字は、何に關係するものが多いですか。

④ ①の四つの漢字と②で書いた漢字を、③に關係するものと關係しないものに分けなさい。

關係するグループ

關係しないグループ

④ ここまでの①、②、③の漢字の部分をそれぞれ次のように言います。

①…へん

②…かんむり

③…によう

① 次の十個の漢字は、へん、かんむり、にようのどれかをもっています。グループに分けましょう。

算 村 起 雪 晴 室 読 理 究 建

① へん

②

① かんむり

②

① によう

②

② へん、かんむり、にようをもつ漢字を、それぞれのグループにできるだけ多く書き加えましょう。

漢字の組み立てを学ぶテスト（4年生以上） 解答

1 次の①～⑤に答えましょう。

① 次の漢字に共通する部分を丸で囲みましょう。

海 港 湯 流

② 丸で囲んだ部分は、四つの漢字の部首です。この部首をもつ漢字を、①の四つの他に六つ書きましょう。

例 池 泳 汽 法 注 漁

③ この部首を使った漢字は、何に関係するものが多いですか。
水に関係するもの

④ ①の四つの漢字と②で書いた漢字を、③に関係するものと関係しないものに分けましょう。全て関係する漢字の場合は、関係しない方のグループに「なし」と書きます。

関係するグループ

例 池 泳 注 湯 海 漁 流 港 海

関係しないグループ

法 汽

⑤ ここまでの①、②、④では、次の三種類の考え方を使いました。

ア. 別々のものから共通点を見つける。

イ. あるきまりに従って、複数のをいくつかのグループに分ける。

ウ. ある共通点をもとに、それに合う他のものを見つける。

それぞれ、どの問題で使いましたか。記号を書きましょう。

① …ア

② …ウ

④ …イ

2 ①の考え方をを使って、次の漢字の組み立てについて考えてみましょう。

① 次の漢字に共通する部首を丸で囲みましょう。

花 芽 荷 茶

② この部首の漢字を、①の四つの他に六つ書きなさい。

例 草 苦 菜 英 葉 菓

③ この部首を使った漢字は、何に関係するものが多いですか。
植物に関係するもの

④ ①の四つの漢字と②で書いた漢字を、③に関係するものと関係しないものに分けなさい。

関係するグループ
例 草 菜 葉 葉 花 芽 茶

関係しないグループ
例 苦 英 荷

③ さらに、次の漢字の組み立てについて考えてみましょう。

① 次の漢字に共通する部首を丸で囲みましょう。



② この部首の漢字を、①の四つの他に六つ書きましょう。

例 遠 道 送 返 連 返

③ この部首を使った漢字は、何に関係するものが多いですか。道に関係するもの 歩くことに関係するもの

④ ①の四つの漢字と②で書いた漢字を、③に関係するものと関係しないものに分けなさい。

関係するグループ

例 遠 道 送 返 連 返 進 追 速 近

関係しないグループ

なし

④ ここまでの①、②、③の漢字の部分をそれぞれ次のように言います。

① …へん

② …かんむり

③ …によう

① 次の十個の漢字は、へん、かんむり、にようのどれかをもっています。グループに分けましょう。

算 村 起 雪 晴 室 読 理 究 建

へん

① 村 晴 読 理

② 例 計 唄 など

かんむり

① 算 雪 室 究

② 例 寒 官 など

によう

① 起 建

② 例 通 達 など

② へん、かんむり、にようをもつ漢字を、それぞれのグループにできるだけ多く書き加えましょう。